

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成25年8月15日(2013.8.15)

【公開番号】特開2013-84857(P2013-84857A)

【公開日】平成25年5月9日(2013.5.9)

【年通号数】公開・登録公報2013-022

【出願番号】特願2011-225180(P2011-225180)

【国際特許分類】

H 01 L 21/31 (2006.01)

F 17 D 3/00 (2006.01)

F 17 D 5/00 (2006.01)

H 01 L 21/3065 (2006.01)

C 23 C 16/455 (2006.01)

C 23 C 16/52 (2006.01)

【F I】

H 01 L 21/31 B

F 17 D 3/00

F 17 D 5/00

H 01 L 21/302 101 G

C 23 C 16/455

C 23 C 16/52

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月2日(2013.7.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

第2開始遮断弁31は、流量制御機器10からのガスを第2測定用タンク32に供給又は停止するエアオペレイトバルブである。第2測定用タンク32は、ガスを一定量貯留する容器である。第2測定用タンク32の容積及び流量制御機器10の2次側から第2開始遮断弁31の1次側までの流路容積は、流量制御機器10の流量によって最適な容積を選定するが、例えば、第2測定用タンク32の容積は10cc程度、流量制御機器10の2次側から第2開始遮断弁31の1次側までの流路容積は、80～120cc程度である。第2圧力計33は、第2測定用タンク32の容器内に貯留したガスの圧力上昇を計測する圧力計である。第2圧力計33は、真空状態のガスに対応し得るように、例えば、隔膜式的真空圧力計を用いている。第2温度計34は、第2測定用タンク32の容器内のガス温度を計測する温度計である。操作遮断弁35は、第2測定用タンク32に貯留されたガスを吸引ポンプ18に供給又は停止するエアオペレイトバルブである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

また、第2圧力計の筒状部332下端には、略矩形状をなして内部に第2測定用タンク32が穿設されている台座ブロック333が配設され、第2圧力計33の真空チャンバ3

3 1 と第 2 測定用タンク 3 2 とが連通されている。第 2 測定用タンク 3 2 は、下方に膨出した湾曲断面に形成されている。湾曲断面の内壁には、台座ブロック 3 3 3 の下端に連通し、図面左側に傾斜する左傾斜流路 3 2 1 と図面右側に傾斜する右傾斜流路 3 2 3 と両者の中間に垂下する垂直流路 3 2 2 とが形成されている。

台座ブロック 3 3 3 の下端は、3 個の矩形状ブロック 3 6 A ~ 3 6 C の上端に当接して、左傾斜流路 3 2 1 は左 V 字状流路 3 6 1 と連通し、右傾斜流路 3 2 3 は右 V 字状流路 3 6 3 と連通している。台座ブロック 3 3 3 及び 3 個の矩形状ブロック 3 6 A ~ 3 6 C の形成された各流路の容積は、流量検定時の測定用タンク容積に含まれるので、流量検定の精度を向上させるよう流路径や流路長を設定することができる。